

# ロータリーのあり方を考える

米国の急減（先進国の急減）

途上国の急増

国連契約書の例（奉仕の訳は無理）

米山さんの考え（サーヴィスと訳す）

福岡西RC、PG、廣畑 富雄

# Service は 奉仕と 訳せない サーヴィスと訳すべき

○ Service は、ロータリーの基本の理念である。

そしてService は、奉仕とは訳せないと思う。

日本の初期のリーダー、米山梅吉さんや 井坂さん、Service を「サーヴィス」と訳す。私も同意見

○ さもないと、公式標語すら理解できない。

He Profits Most Who Serves Best : 最も善くサーヴィスをなすものは、最も多く利益す (米山訳)  
(資料、米山、ロータリークラブに就て、昭和4年)

# 「サーヴィス」と「奉仕」の比較

「サーヴィス」は、人の役に立つ、  
考えや行為

Random House 英英大辞典の記述

**Service: An act of helpful activity**

廣辞林; 奉仕: 仕えまつる事

自己の利害を離れ 国家社会につくす事

# 私の国際連合の契約書の例

- 私はかつて国際連合(ニューヨーク)に勤務  
国連との契約書、それに署名
- その契約書は、「Special **Service** Agreement」  
「特別**サーヴィス**同意書」であり、「特別**奉仕**同  
意書」とは訳せない
- 契約書には、レベルの高い報酬額も明記  
(国連へのサーヴィスの内容は～)

# 職業サーヴィスと 本人の幸せ

- 職業サーヴィスは、世のためになると共に、本人の幸せになる
- ロータリーに、2大モットーがある  
「自我に先立つサーヴィス」と  
「最も善くサーヴィスをなすものは、最も多く利益す」 (米山訳)

He Profits Most Who Serves Best

# ロータリーは、サーヴィスが 根本理念である(井坂)。ではサーヴィスの場は？

- 職業上のサーヴィス(相手をおもんばかり)  
社会を良くし また 本人の ビジネスの  
繁栄につながる
- 家庭でのサーヴィス(思いやり)  
幸せな家庭をつくる
- サーヴィスの心 (思いやり) は 人間関係で  
友の信頼と 友情を生む
- サーヴィスの心で より良い クラブへ  
より良い社会へ より良い国際関係へ